

第 2 期市長公約の第 6 次総合計画における取組状況

令和 8 年 3 月 3 1 日現在

番号	第 2 期市長公約（ 5 つの C ）		第 6 次総合計画		令和 8 年 3 月末現在の主な取組内容	取組 状況
			分野	施策目的		
広域連携（Coordination） 地域連携を深めます						
1	邑楽郡内各町との連携を強化します	・ 館林邑楽地域発展のため各種協議会等の活動を充実させること ・ 渡良瀬川及び利根川架橋促進協議会の期成同盟会への格上げを目指すこと	行政活動	時代に対応できる自立した持続可能なまちになる	・ 各種協議会において邑楽郡内各町との情報共有を実施 ・ (株)サントリーとの包括連携協定による取組を実施 ・ 期成同盟会への格上げについても関係市町と可能性を模索 ・ 整備効果検証の実施に向けて関係市町との協議を実施	◎
2	県外自治体とも連携し、第 3 の南北交通軸整備を推進します	・ 国道 1 2 2 号、佐野行田線に次ぐ第 3 の南北交通軸（山王赤生田線）整備を推進すること ・ 渡良瀬川及び利根川架橋促進協議会の期成同盟会への格上げを目指すこと	道路・交通	人や物が安全で快適に移動できるまちになる	・ 県道山王赤生田線バイパス整備の推進を要望 ・ 渡良瀬川及び利根川架橋促進協議会の活動を支援	◎
			行政活動	時代に対応できる自立した持続可能なまちになる	・ 各種協議会において邑楽郡内各町との情報共有を実施 ・ 期成同盟会への格上げについても関係市町と可能性を模索 ・ 整備効果検証の実施に向けて関係市町との協議を実施 ・ 整備効果検証に係る業務委託費用を令和8年度当初予算に計上	
3	3 R（ゴミの発生を抑え、再使用、再利用を図る）を推進し、循環型社会の構築を目指します	・ 3 R を推進し、循環型社会の構築を目指すこと ・ 循環型社会の構築に寄与する施策立案に向けて、費用対効果を含めた検討を行うこと	ごみ・資源	ごみを減らして資源を生かす循環型のまちになる	・ 出前講座 18件（合計762人） ・ 館林市公式LINEによる情報発信 11件 ・ 第3回ごみゼロ館リユースイベント R7. 4. 27 ・ 第4回ごみゼロ館リユースイベント R7. 11. 24 ・ 館林市廃棄物減量等推進審議会にて有料指定ごみ袋導入の審議等を実施 第1回審議会 R7. 9. 24 第2回審議会 R8. 1. 27 第3回審議会 R8. 3. 27	◎
教育・子育て（Child） 子育て支援と義務教育期間の負担軽減を進めます						
4	認定こども園化を促進し、子育て環境の充実を図ります	・ 教育・保育施設の認定こども園化及び民営化を促進し、さらなる子育て環境の充実を図ること	子育て	社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる	・ 旧南保育園の解体工事が完了し、跡地に学童保育施設を建築したほか、南こども園及び学童保育施設用の駐車場を整備済 ・ 六郷保育園及び杉並幼稚園、西幼稚園の統合について、市議会へ報告済 ・ 渡瀬保育園及び成島保育園の民営化について、プロポーザル審査を実施後、6月議会において関連議案を2つ上程し可決済。運営法人との複数回の協議や保護者説明会等を実施したほか、運営協定書や土地・建物に関する契約を締結し、運営開始に向けた環境を整備済	◎
5	学童保育や放課後子ども教室の整備及び支援を行います	・ 放課後児童クラブや放課後子ども教室の整備及び支援を行うこと	子育て	社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる	・ 旧南保育園の解体工事が完了し、跡地に学童施設を建築したほか、駐車場を整備済	◎
			青少年	心身ともに健全な子どもが育つ家庭や地域の教育力が高いまちになる	・ 市内3地区の放課後子ども教室をモデル事業として実施	
6	学校給食費の支援を拡大します	・ 年度単位の想定ロードマップを作成し、段階的に無償化を進めること	学校教育	自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる	・ 第3子以降無償化を実施 ・ 中学3年生の無償化を実施 ・ 全児童及び生徒に対し、給食費負担軽減事業として月額700円の公費負担を実施 ・ 物価高騰対策学校給食費無償化事業として、令和8年1～3月の3か月間の無償化を実施	◎
7	公立中学校制服のリニューアルや必要備品のリサイクル体制を強化します	・ 公立中学校制服のリニューアルや必要備品のリサイクル体制を強化すること	学校教育	自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる	・ 他自治体等の取組及び市内中学校の制服に関する現状についての研究継続	○
8	小中学校の適正規模と中等教育環境の推進を検討します	・ 小中学校の適正規模・適正配置を検討すること ・ 中高一貫校の整備について、群馬県へ働きかけを行うこと	学校教育	自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる	・ 小中学校の適正規模・適正配置を検討するため、館林市立学校適正規模・適正配置審議会を設置。全5回の審議を経て、答申を基に「館林市立学校適正規模・適正配置基本方針」を策定 ・ 中高一貫校については、県教育委員会と情報共有を図った	◎

第 2 期市長公約の第 6 次総合計画における取組状況

令和 8 年 3 月 3 1 日現在

番号	第2期市長公約（5つのC）		第6次総合計画		令和8年3月末現在の主な取組内容	取組状況
			分野	施策目的		
医療・福祉・生活（Care）災害に強く、安心できる地域体制を進めます						
9	公立館林厚生病院の医療体制を充実します	・ 人間ドックや透析療法の拡充など、公立館林厚生病院の医療体制を充実すること ・ 診療科目数を維持すること	医療	適切な医療がいつでも受けられるまちになる	・ 休日在宅当番医の開所日数： 72日 ・ 夜間急病診療所の開所日数： 292日 ・ 健康相談の相談件数： 3,434件 ・ リウマチ科の専門医を採用。これにより、令和8年4月から31科に増加	◎
10	認知症の方やその家族が安心できる環境づくりを目指します	・ 市内医療機関と連携し、認知症の方やその家族が安心できる環境づくりを目指すこと	高齢者	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる	・ 認知症疾患医療センターと関係機関が連携を図り、認知症支援を実施	◎
11	避難所にも使える小中学校体育館の空調設備など、環境の整備を図ります	・ 小学校及び中学校体育館の空調設備を整備すること	学校教育	自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる	・ 令和7年度、中学校全5校の体育館空調設備の設計を実施（委託期間R7.5.2-R8.1.19）	◎
			スポーツ	スポーツを生活に取り入れ、誰もがスポーツを楽しめるまちになる	・ 令和6年度にダノン城沼アリーナの空調設備を整備済	
12	公共交通網の整備と使いやすい移動手段を確保し、利便性向上を目指します	・ 公共交通網の整備と使いやすい移動手段を確保し、利便性を向上させること ・ 高齢者通院等タクシー券及びいきいきタクシー券のDX化を推進すること	道路・交通	人や物が安全で快適に移動できるまちになる	・ 地域公共交通計画に基づく路線整備を行い12路線を運行 ・ 令和8年3月の館林市外四町地域公共交通会議全体会にて第2次館林都市圏地域公共交通計画を策定。今後は計画に基づき持続可能な公共交通の維持に向け、路線の見直し等の事業を推進 ・ マイナンバーカードを活用したタクシー助成システムを導入。令和8年4月からの利用開始に向け、令和8年2月から各公民館及び市役所にて利用登録を実施	◎
13	障がい者一人ひとりが自分らしく暮らせる体制づくりを進めます	・ 障がい者一人ひとりが自分らしく暮らせる体制づくりを進めること	障がい	障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる	・ 1市4町及び大泉町（直営でセンター設置済）にて、設置に向けた協議を実施 ・ 9月1日よりプロポーザルを開始 ・ 令和8年4月より館林市邑楽郡4町障がい者基幹相談支援センターを設置 ・ 事業実施状況を自立支援協議会にて報告 ・ 児童発達支援部会にて、センターの在り方等について協議を開始 ・ 精神支援部会を隔月開催し、保健、医療、行政等関係者が事例検討や社会資源マップ作成に向けて協議を行っている。	○
官民連携（Collaboration）官民連携により、市内企業の発展と雇用創出、税収確保を進めます						
14	工業・産業団地増設による雇用創出及び税収の確保を促進します	・ 大島工業団地、北部第四工業団地、渡瀬南部第二産業団地の造成を進めること ・ 上記のほか第4の工業・産業団地の造成を検討すること	産業	新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる	・ 大島工業団地の用地買収を実施 ・ 北部第四工業団地の造成工事を実施 ・ 渡瀬南部第二産業団地の市街化編入手続きを実施 ・ 企業訪問を実施 ・ 新規団地へ多くの企業を誘致すべく協議中	○
15	館林インターチェンジ周辺の整備・促進を図ります	・ 館林インターチェンジ周辺の整備・促進を図ること	産業	新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる	・ 館林インターチェンジ周辺の立地特性を活かした開発の実現に向け、事業内容及び事業手法等について調査・研究を実施中	△
16	若者が働く環境づくりを支援します	・ 若者が働く環境づくりを支援すること	労働環境	生き生きと安心して働ける環境が整ったまちになる	・ 各種奨励金（障がい者雇用奨励金、高齢者雇用奨励金、UIターン奨励金、定住新卒就職者奨励金及び正規雇用奨励金）の支給 ・ 企業ガイダンス（出張ガイダンス）を邑楽郡内の高等学校4校で実施 ・ 6年ぶりに大学生向けの企業ガイダンス（就職合同説明会）を開催 ・ 企業紹介ガイドブックを作成し、二十歳のつどいや近隣大学等に配布 ・ 就労支援事業（講座及び相談会）として、就職困難者、求職者及び勤労者向け講座を9回開催し、72名が受講 ・ ハローワーク共催として就職面接会（障がい者対象面接会、障がい者雇用学校見学会、館林金属工業団地求人説明会、ツアー型会社説明会＆面接会）を実施 ・ 市役所内に特設コーナーを設けハローワーク求人情報を周知 ・ 県が実施している出張サポートステーションでの就労支援や労働相談、働く人のメンタルヘルス相談について、市ホームページ及び広報紙で周知	◎
17	ほ場整備や地産地消を推進し、「AI」や「IoT」など最先端の次世代型農業を支援します	・ ほ場整備や地産地消を推進し、「AI」や「IoT」など最先端の次世代型農業を支援すること	農業	安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる	・ 市内の生産者が地元野菜や加工品の販売により、地産地消やブランド化推進のため、ミニマルシェを開催（令和7年度は11月16日（日）に開催された第49回産業祭のブースとして出店） ・ 令和7年度も引続き、農業の効率化・省力化を目的とし、ドローン、ラジコン草刈機の導入に支援を実施 ・ 野辺地区のほ場整備事業採択認可を受け、土地改良区を設立し、令和6年9月末から工事を実施中。事業を円滑に施行するため、県及び土地改良区との協議を実施 ・ 大島地区において、県による調査業務営農計画書等の作成を実施。このほか、市で地権者との交渉を実施	○

第 2 期市長公約の第 6 次総合計画における取組状況

令和 8 年 3 月 3 1 日現在

番号	第 2 期市長公約（ 5 つの C ）		第 6 次総合計画		令和 8 年 3 月末現在の主な取組内容	取組状況
			分野	施策目的		
18	食とアートをテーマにした事業に取り組みます	・資源の再認識と磨き直しによる「アート」をテーマにした事業に取り組むこと ・「アート」と「花ハスクルーズ」を結びつける施策を検討すること	文化	地域の歴史や伝統、芸術や文化に誇りをもち、魅力ある文化を育み、心豊かに暮らせるまちになる	・小学校の余裕教室に「藤野天光」彫刻を常設展示 ・令和7年度は第六小学校に常設展示場を設置 ・館林市立資料館にて収蔵資料展「屏風さんぽ」を開催、資料館コレクションや郷土の芸術家を紹介 ・官民連携によるアーティストインレジデンスや作品展示会、アートツアーを実施	◎
			観光	多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる	・7月10日～8月31日の期間で「夏の城沼花ハスマつり」を開催 ・Hotel KOMORINUと連携し「花ハスマーニングクルーズ」を実施。期間中の乗船者数6,470人（前年比121％）	
		・館林地域食品産業協議会の活動を充実させること	産業	新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる	・産業祭において「人と食の出会いフェスタ」を開催し、館林地域食品産業協議会会員企業のPRを実施 ・市内の小学生と保護者を対象に、館林市の食文化を体感するツアーを実施（5組12名参加） ・子ども体験プログラムとして、館林地域食品産業協議会と東武鉄道株式会社が連携して市内食品工場を巡るツアーを実施し、「食とアートのまち たてばやし」を発信（16組42名参加）	
		・麺－1 祭りや百年小麦など、「食」をテーマにした事業の充実を図ること	商業	事業者が元気で活力のあるまちになる	・激グルメ総選挙（7月～8月）を実施。33店舗、38メニューがエントリー（投票数795票） ・麺-1祭り（10月）を実施。30店舗が出店し、2日間で延べ3万人が来場 ・館林商工高校生による百年小麦収穫体験実施 ・商工高校と市立第六小との連携による百年小麦の授業やうどん打ち体験の実施 ・池袋駅構内イベントスペースでの百年小麦製品販売会実施	
		・「食と農」をテーマとした交流事業などを通じて、地産地消、食育などに対する市民意識の向上を図ること	農業	安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる	・地産地消やブランド化推進のため、ミニマルシェを開催	
		・まちの魅力の積極的な発信や、市外の方が地域と関わる機会を提供する官民連携の取組を促進すること ・たてばやし応援隊及びたてばやし応援店の制度を元としたさらなる施策の拡充	まちのにぎわい	人が集まり、市民自らがつくる、にぎわいと魅力あるまちになる	・たてばやし応援隊及びたてばやし応援店の登録数拡大を図るため、幅広く制度の周知を実施 ・たてばやし応援隊及びたてばやし応援店と連携した魅力情報の発信を実施(定期的なメルマガ配信の実施)	
		・行政と民間が連携し、まちの魅力を効果的に発信することで、市の知名度と地域への愛着の向上を図ること	情報の共有	市政の透明性を高め、誰もがまちへの愛着と誇りのあるまちになる	・食とアートのまちとしての側面をSNSをはじめ広報媒体で発信 ・市内の食品産業とタイアップした「食のまち」を紹介する令和8年くらしのこよみカレンダーを制作	
19	民間まちづくりマネジメント法人「館林アーバンデザイン」との連携による公共用地の整備・利活用を推進します	・公共用地の整備・利活用を推進し、まちなかの活性化を含めた公共施設の再編を検討すること ・エリアプラットフォームを活用すること ・歴史的建造物の活用を検討すること	まちのにぎわい	人が集まり、市民自らがつくる、にぎわいと魅力あるまちになる	・事業者等に対しコンパクトシティの考え方を周知 ・令和8年4月の館林市立地適正化計画改定に向け、関係部局との調整、改定案を作成 ・エリアプラットフォームにおいて、館林駅東エリアの未来ビジョン策定に向けた検討 ・一般社団法人館林アーバンデザインと連携して栄町1号公園整備に関する会議等を実施 ・栄町1号公園整備に向けた地域住民との意見交換会を実施 ・太陽の園改修に向けた地域住民とのワークショップを実施	◎
			行政活動	時代に対応できる自立した持続可能なまちになる	・124施設の内14施設について、整備の方向性を決定 ・まちなか公共施設再編検討プロジェクトチームにおいて、公共施設再編に向けた最終報告書を作成	
20	シティプロモーションにより全国へ魅力を発信します	・行政と民間が連携し、まちの魅力を効果的に発信することで、市の知名度と地域への愛着の向上を図ること	情報の共有	市政の透明性を高め、誰もがまちへの愛着と誇りのあるまちになる	・広報専門官と連携し、本市を舞台にしたショートドラマ『はい、館林市役所です。』を制作 ・シティプロモーションに特化したInstagramアカウントを開設	◎
21	ネーミングライツの活用と企業版ふるさと納税により自主財源を確保します	・ネーミングライツの活用とふるさと納税（企業版を含む）により自主財源を確保すること	行政活動	時代に対応できる自立した持続可能なまちになる	・ネーミングライツの新たな導入施設の選定について検討 ・新たなふるさと納税寄附者獲得に向けた返礼品の開拓・拡充	○

第 2 期市長公約の第 6 次総合計画における取組状況

令和 8 年 3 月 3 1 日現在

番号	第2期市長公約（5つのC）		第6次総合計画		令和8年3月末現在の主な取組内容	取組状況
			分野	施策目的		
施設整備（Construction）公共施設等の整備・改修を進めます						
22	中央通り線、茂林寺前駅西口（改札の設置）などの整備を促進します	・中央通り線における商店の集積及び遊休不動産の活用を促進すること	商業	事業者が元気で活力のあるまちになる	・「NOVO LAB0」は入居事業者の都合により一時休止していたが、入居事業者が入れ替わり、令和8年5月再開が決定 ・2棟目の建設工事が完了し、入居事業者も決定。令和8年4月に開店予定 ・創業塾（応用編）修了者5名が飲食小売業や内科医院を開業 ・「わたしたちの月3万円ビジネス」において、受講者がやりたいことを具現化すべく熱心に取り組み、12名が修了	◎
		・中央通り線道路改良事業を促進すること	まちのにぎわい	人が集まり、市民自らがつくる、にぎわいと魅力あるまちになる	・中央通り線道路改良事業を推進	
		・茂林寺前駅西口整備事業を促進すること	道路・交通	人や物が安全で快適に移動できるまちになる	・東西自由通路、公衆トイレ建築工事を実施 ・西口ロータリー整備工事を実施 ・西口改札工事（東武鉄道施工）を実施	
23	歴史の小径を磨き直し、城下町館林を発信します	・歴史の小径を磨き直し、城下町館林を発信すること ・エリアプラットフォームを活用すること ・歴史的建造物の活用を検討すること	文化	地域の歴史や伝統、芸術や文化に誇りを持ち、魅力ある文化を育み、心豊かに暮らせるまちになる	・武鷹館つつじまつりやお月見会、ハクチョウ写真展を実施 ・むかし遊びや俳句・盆栽展を開催し、市内外の来訪者からも高評価を獲得 ・「歴史の小径」エリアプラットフォーム関連の会議・ワークショップ等に積極的に参加 ・二業見番のライトアップを実施	◎
			まちのにぎわい	人が集まり、市民自らがつくる、にぎわいと魅力あるまちになる	・エリアプラットフォームにおいて、館林駅東エリアの未来ビジョン策定に向けた検討 ・一般社団法人館林アーバンデザインと連携して栄町1号公園整備に関する会議等を実施 ・栄町1号公園整備に向けた地域住民との意見交換会を実施 ・太陽の園改修に向けた地域住民とのワークショップを実施	
			市民協働	市民と行政が共創して発展できるまちになる	・日本語教室や市民活動団体のイベントや会議スペースとして長屋門を活用 ・歴史的街並み景観創出補助金について、1件の相談あり。	
24	多様なスポーツ施設整備やスポーツツーリズムを推進します	・湯けむり国スポに関連するスポーツをはじめとした多様なスポーツ施設を整備すること	スポーツ	スポーツを生活に取り入れ、誰もがスポーツを楽しめるまちになる	・競技会場施設の整備の検討 ・令和7年度にダノン城沼アリーナのLED照明設備改修工事が完了。その他、各施設の改修、整備等も実施中	○
		・Hotel KOMORINUでのスポーツ合宿を積極的に受け入れるなど、スポーツツーリズムを推進すること	スポーツ	スポーツを生活に取り入れ、誰もがスポーツを楽しめるまちになる	・市外や県外からの参加者も多い、たてばやし駅伝大会等のスポーツ大会の開催通知に、Hotel KOMORINUを紹介するパンフレットを同封し、宿泊の案内を実施	
			観光	多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる	・市内で開催された東日本の大学ソフトボール大会の開催期間中、2チーム（2大学）が施設を利用 ・サイクリストの利用促進のためSNS等による周知を実施 ・スポーツツーリズムの推進に係るアドバイザーボードを実施	
25	ダノン城沼アリーナにエレベーター設置を推進します	・ダノン城沼アリーナにエレベーター設置を推進すること	スポーツ	スポーツを生活に取り入れ、誰もがスポーツを楽しめるまちになる	・令和7年度にダノン城沼アリーナのエレベーター設置工事が完了	◎
26	図書館DXと整備を検討します	・図書館DXと整備を検討すること ・まちなかの活性化を含めた公共施設の再編を検討すること	生涯学習	生涯にわたって学び続けることができ、生きがいと活力に満ちたまちになる	・図書館サービスの提供 ・イベントの受付をLoGoフォームにて実施 ・電子図書館サービスの導入に向けて、市内小中学校の司書から意見聴取 ・貴重資料のデジタル化を継続	△
			まちのにぎわい	人が集まり、市民自らがつくる、にぎわいと魅力あるまちになる	・事業者等に対しコンパクトシティの考え方を周知 ・令和8年4月の館林市立地適正化計画改定に向け、関係部局との調整、改定案を作成	
			行政活動	時代に対応できる自立した持続可能なまちになる	・124施設の内14施設について、整備の方向性を決定 ・まちなか公共施設再編検討プロジェクトチームにおいて、図書館整備を検討 ・担当部署とDX推進アドバイザー（外部人材）を含めてデジタル化に向けて協議・検討	
27	2029湯けむり国スポ（旧国体）のレスリング競技、ローイング競技、軟式野球競技により、活性化に取り組めます	・2029湯けむり国スポ（旧国体）のレスリング競技、ローイング競技、軟式野球競技により、活性化に取り組むこと	スポーツ	スポーツを生活に取り入れ、誰もがスポーツを楽しめるまちになる	・競技の実施に向けた調査や視察を実施 ・運営組織である実行委員会開催に向け、設立発起人会を開催	◎
28	江川橋架け替え工事に取り組めます	・江川橋架け替え工事に取り組むこと	道路・交通	人や物が安全で快適に移動できるまちになる	・日向町側の取付道路工事の実施 ・橋梁下部工事を国交省の受託工事として着手 ・木戸町側（一部）の用地買収の実施	◎

第 2 期市長公約の第 6 次総合計画における取組状況		
進捗	件数	進捗率
◎：達成又は計画的に進行中	20	71.4%
○：一部進行中	6	21.4%
△：検討中	2	7.2%
計	28	100.0%